

監査結果公告第5号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、監査を実施したので、その結果に関する報告及び意見を同条第9項及び第10項の規定により、次のとおり公表します。

平成28年度財政援助団体等監査の結果について

平成28年12月26日

東かがわ市監査委員 楠田 敬

東かがわ市監査委員 岡本 憲治

東かがわ市監査委員 橋本 守

財政援助団体監査報告書

第1 監査の対象及び実施日

対 象		実 施 日
団 体	事 務	
特定非営利活動法人 東かがわ市ニューツー リズム協会	平成26年度、平成27年度及び 平成28年4月1日～平成28年 8月31日までに執行した出納そ の他の事務	平成28年11月7日（月）

第2 監査の方法

平成26年度、平成27年度及び平成28年4月1日から平成28年8月31日まで
に執行した特定非営利活動法人東かがわ市ニューツーリズム協会の出納その他の事務
の執行について、当協会から提出された資料及び提示のあった出納関係資料に基づいて、
帳簿突合、必要と認めた監査の手続きを実施した。

また、今回の監査に先立って当協会の主管課である総務部商工観光課から提出された
資料及び提示のあった関係資料等に基づいて、質問その他の方法によって、事前調査を
平成28年10月7日（金）に行った。

第3 特定非営利活動法人東かがわ市ニューツーリズム協会の概要

ア 設置目的（定款第3条）

この法人は、市民や来訪者に対して、東かがわ市の観光振興に関する事業を行い、
地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

イ 事務所所在地（定款第2条）

東かがわ市湊1847番地1

ウ 組織（平成28年8月31日現在）

役員は、理事長1人、副理事長2人、常務理事1人、理事6人、監事1人、
顧問3人である。

職員は、事務局長1人のみである。

エ 実施事業（定款第5条）

- 1 観光資源の調査、研究、開発に関する事業
- 2 観光に関する宣伝、紹介及び観光客の誘致に関する事業
- 3 観光施設の整備改善及び管理運営に関する事業
- 4 観光に関する刊行物の発行に関する事業
- 5 観光関係団体との連絡協調に関する事業
- 6 観光事業に関する情報の収集及び提供に関する事業
- 7 観光客に対する便益の供与及びサービスに関する事業
- 8 地域特産品等のPRと販売に関する事業
- 9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

オ 委託事業

讃州井筒屋敷の管理・運営（平成26年度で指定管理終了）

カ 市からの助成金額及び委託料

平成26年度 助成金額 12,881,000円（協会運営・観光振興）
 平成27年度 助成金額 11,200,000円（協会運営・観光振興）
 平成28年度 助成金予算額 7,130,000円（協会運営）

平成26年度 指定管理委託料 6,030,000円（旧井筒屋敷管理運営）

キ 収支の状況

① 収支の推移

（単位：円）

区分	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算
収入	助成金	12,881,000	11,200,000	7,130,000
	委託料	6,030,000	0	0
	市からの収入額計	18,911,000	11,200,000	7,130,000
	他の収入額	18,965,732	2,178,643	600,000
	合計	37,876,732	13,378,643	7,730,000
支出	事業費	13,505,853	10,327,331	4,811,400
	管理費	21,374,534	5,661,316	2,918,600
	合計	34,880,387	15,988,647	7,730,000
差額		2,996,345	△2,610,004	0

② 平成26年度、平成27年度の決算報告書（抜粋）
 別添とおり（資料）

第4 監査の結果及び意見

(1) 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務については、概ね適正に処理されていると認められるが、次のとおり、事務改善及び検討を要する事項と思われる点が見受けられたので、監査委員の意見を付するものである。

(2) 監査委員の意見

ア 事業展開について

当協会は、設立当初より指定管理委託事業であった讚州井筒屋敷の管理・運営が中心となり、引田地区の観光振興に繋がっていたが、協会が目指す本来の目的である市全体の観光振興においては、その趣旨が、十分に進められていない状況があったことは、前の監査でも指摘されたところである。

そうした中、役員の中から、設立時に描いていた事業を望む意見が上がり、平成27年からは讚州井筒屋敷の指定管理から撤退し、事業仕分けと共に、人員整理がおこなわれている。

それに伴い、運営助成金も徐々に減額となってきており、当協会の進むべき事業の方向性は大きな転換期を迎え、まさに過渡期であると思われる。

今後、当協会には、本来の目的である市全体の観光振興と共に、主管課の掲げた「本市への入客数目標100万人」に向けた事業展開が望まれ、その内容に応じた運営助成金が交付されることとなる。

減少傾向の財政状況下にあつて、更なる事業精査を余儀なくされる上で、営利事業と非営利事業が混在している現状から、将来に向けては、非営利事業を中心にした事業を推進しつつ、非課税事業所という税制上のことも視野に入れた事業の検討に努められたい。

また、当協会の設立目的を成就する事業が推進できる組織体制の整備や、手当の支給など職員の処遇改善にも努められたい。

イ 地域ガイドの育成について

この事業のうちジオサイト観光船の事業があるが、委託先の団体の安全管理面や運行料金設定に至る関係省庁への許可や届出に不安要素がぬぐえない状況が窺えるため、委託先の実施体制が確立された後に、この事業を再開するように努められたい。

ウ 情報発信について

東かがわ市に関する観光に特化した当協会のホームページを平成28年3月にリニューアルし、フェイスブックと連動させている。

また、総合パンフレットとしての「田舎さんぽ」もリニューアルし、増刷している。そこで重要となるのが、観光素材となる「見る」「体験する」「食べる」「泊まる」の

情報を整理し、求められる情報を日々更新できるような体制づくりをし、ホームページのアクセス目標をクリアできるように努められたい。

エ おおち踊りについて

本協会が率先して、「おおち踊り」の復活を推進し、事務局も担ってきている。

この状況を打破するためには、おおち踊り保存会（仮称）の設立に向けた取組みが、必要な時期に来ていると思われる。事務局事務の負担軽減対策に努められたい。

オ 剰余金について

本協会の平成 27 年度収支計算総括表（資料）で、次期繰越収支差額（6,289,707 円）の記載が見受けられる。これは、指定管理事業を実施していた時の営利事業の蓄積分であり、この中には、市がこの協会に出捐金として渡した 2,500,000 円も含まれている。

この状況を踏まえて、出捐金を差し引いた繰越金分は本市の目指す「集客 100 万人」に向けた事業推進に有効活用されるよう財産管理と事業展開に努めていただきたい。

カ 備品の管理について

本協会が平成 25 年に保有した車両について、備品台帳が存在しない旨の回答があり、決算報告書にも掲載があるため、早期に台帳を作成し、登録の事務処理をされるよう措置されたい。

比較貸借対照表

(単位:千円.%)

科目	平成27年度末金額	平成26年度末金額	対前年度増減額	対前年度増減率
流動資産	9,450,679	13,723,807	△ 4,273,128	△ 31.1
現金	281,896	1,573,583	△ 1,291,687	△ 82.1
預金	1,305,715	10,837,779	△ 9,532,064	△ 88.0
未収入金	5,610,483	239,412	5,371,071	2,243.4
商品	0	508,090	△ 508,090	△ 100.0
前払費用	9,200	9,200	0	0.0
貸付金	2,243,385	555,743	1,687,642	303.7
固定資産	168,299	336,598	△ 168,299	0.0
車輛運搬具	168,299	336,598	△ 168,299	0.0
資産の部合計	9,618,978	14,060,405	△ 4,441,427	△ 31.6

科目	平成27年度末金額	平成26年度末金額	対前年度増減額	対前年度増減率
流動負債	3,329,271	5,160,694	△ 1,831,423	△ 35.5
前受金	0	0	0	0.0
未払金	0	1,368,657	△ 1,368,657	△ 100.0
未払費用	962,256	2,064,569	△ 1,102,313	△ 53.4
預かり金	17,030	145,125	△ 128,095	△ 88.3
借入金	2,243,385	555,743	1,687,642	0.0
未払法人税	80,000	118,100	△ 38,100	△ 32.3
未払消費税	26,600	908,500	△ 881,900	△ 97.1
固定負債	0	0	0	0.0
負債の部合計	3,329,271	5,160,694	△ 1,831,423	△ 35.5
正味財産	6,289,707	8,899,711	△ 2,610,004	△ 29.3
前期繰越正味財産	8,899,711	5,903,366	2,996,345	50.8
当期正味財産増加額	-2,610,004	2,996,345	△ 5,606,349	△ 187.1
負債及び正味財産合計額	9,618,978	14,060,405	△ 4,441,427	△ 31.6

収支計算書総括表

(単位:円)

科目	平成27年度末金額			平成26年度末金額		
	非営利活動	営利活動	合計	非営利活動	営利活動	合計
収入の部						
会費収入	300,000	0	300,000	335,000	0	335,000
助成金収入	<u>11,200,000</u>	0	<u>11,200,000</u>	<u>12,881,000</u>	0	<u>12,881,000</u>
委託金収入	0	0	0	0	<u>6,030,000</u>	<u>6,030,000</u>
事業補助金	418,000	0	418,000	545,800	0	545,800
事業収入	0	1,279,249	1,279,249	1,985,350	15,930,839	17,916,189
雑収入	181,394	0	181,394	142,286	26,457	168,743
当期収入合計A	12,099,394	1,279,249	13,378,643	15,889,436	21,987,296	37,876,732
支出の部						
事業費	7,476,610	2,850,721	10,327,331	3,470,957	10,034,896	13,505,853
管理費	5,545,146	116,170	5,661,316	9,473,757	11,900,777	21,374,534
当期支出合計B	13,021,756	2,966,891	15,988,647	12,944,714	21,935,673	34,880,387
当期収支差額A-B=C	-922,362	△ 1,687,642	-2,610,004	2,944,722	51,623	2,996,345
前期繰越収支差額 D	9,455,454	△ 555,743	8,899,711	6,510,732	△ 607,366	5,903,366
次期繰越収支差額 C+D	8,533,092	△ 2,243,385	6,289,707	9,455,454	△ 555,743	8,899,711

※下線のものが、市からの収入分